

① いいことは
おかげさま
わるいことは
身から
出たさび

② そのうち
そのうち
べんかいしながら
日がくねる

③ 一番わかつている
ようで一審わから
ぬこの自分

④ うつくしいものを
美しいし思える
あなたの
ところが
うつくしい

⑤ かんのかんさまが
みている
ほとけさまが
みている
みんなみている
ちゃんと
みている

⑥ 感動とは
感じて
動く
と書くんだなあ

⑦ ただいるだけで
あなたがそこに
ただいるだけで
その場の空気が
あかるくなる

あなたがそこに
ただいるだけで
みんなのところが
やすらぐ

そんな
あなたにわたしも
なりたいたい

⑧ その時の出逢いが
人生を根底から
変えることがある
よき出逢いを

⑨ 一病息災
貧乏神同居
しかもかくのごとく
なりといえども
いのち明朗
いのち満点

⑩ あんなに
せわして
ゆったのに
『のちに』が
つくどぐちが
出る

⑪ 日は好日
ふつても
てつても
日は好日
泣いてもわらつても
きょうが
一番いい日
わたしの一生の中の
大事な一日だ
から

⑫ いのちのバトン
父と母で二人
父と母の両親で四人
そのまた両親で八人
こうして数えてゆくと
十代前で、千二十四人
二十代前では・・・？
なんと百万人を超すんです

過去の無量の
いのちのバトンを
受けついで
いま、ここに
自分の番を生きている
それがあなたのいのちです
それがわたしのいのちです

⑬ 長い人生にはなあ
どんなに避けようとしても
どうしても通らなければ
ならぬ道
てものがあるんだな
そんなときはその道を
黙って歩くことだな
愚痴や弱音を吐かないでな
黙って歩くんだよ
ただ黙って
涙なんか見せちゃダメだぜ！
そしてなあその時なんだよ
人間としてのいのちの根が
ふかくなるのは・・・



⑭ ぐち
ぐちをこぼしたって
いいがな
弱音を吐いたって
いいがな
人間だもの
たまには涙を
みせたって
いいがな
生きているんだ
もの

⑮ 出逢い
いつどこで
だれとだれが
どんな出逢いをするか
どういう
めぐり逢いをするか
それが大事なんだ
なあ

⑯ 七転八倒
つまづいたり
ころんだり
するほうが
自然なんだな
にんげんだ
もの

⑰ だれにだって
あるんだよ
ひとにはいえない
くるしみが

だれにだって
あるんだよ
ひとにはいえない
かなしみが
ただだまっている
だけなんだよ
いえばぐちに
なるから

⑰ 人間の生きる場所として
生きてくときの時は
いつでもいま
昨日でも明日でもない
今日ただいまのいま！
そして
自分の生きるところ
生きる場所は
いついかなるときでも
ここ

西でも東でもない
いま自分の立っている
ここ
右でも左でもない
いま自分の坐っている
ここ！

いつでもどこでも
いまここが
自分のいのちの正念場
自分の一番大事なところ

新内閣がスタートして～

「どじょうがさ金魚のまねすることねえんだよなあ」

という詩を野田新総理が使われ～にわかに「相田みつを」さんが
ブームだそうです！！

私も昔から好きなので、今回は「相田みつを」を特集です！！
一つ一つ素晴らしい詩で、ハッとさせられます。
皆さんはいかがですか？どの詩が好きですか？

私は・・・
番の気持ちを常に基本に持ちつつ
番の気持ちで一日一日を過ごし
番のような人になる！
というのを目標にしています！！

